

## 社会貢献活動の質的評価検討会議事録（第2回～第5回）

### 第2回 質的評価検討会（社会貢献活動支援推進会議小委員会）

日時 平成22年4月12日 10時00分～12時00分

場所 高知県庁北庁舎3階会議室

出席者 上田委員、新藤委員、大槻委員 事務局4名

#### 前回の要点・意見交換

- ・個々の評価ではなくセクターで評価する。
- ・成果で評価せず、プロセスを評価する。（プロセスが大事ということを発信する）
- ・評価する目標をはっきりさせないと成果（の評価）に引きずられてしまう。
- ・自己評価ができないNPOも多いのでは。自己評価をすることは、NPOが成長するステップになる。

#### 評価の方法

- ・まずはデータを集める。
- ・「非営利組織の成果重視マネジメント」（ドラッカー）を参考に、自己評価システムを開発する。（ワークシートの検討）
- ・高知県ボランティア・NPOセンター主催の経営塾に参加しているNPOに協力してもらってはどうか。
- ・県が評価をすることはできない。NPOの経営力を強めるのはNPOセンターの役割であり、データを活かしていくためにもNPOセンターに担ってもらいたい。
- ・地域の視点をどのように入れるのかが難しい。地域の課題＝政策の課題にしているのか。成果にこだわるのではなく、プロセス重視で。
- ・従来の評価にとらわれず、新しい視点の評価指標をつくる。
- ・ワークシートの5つの枠組みは変えないが、5つのフェーズの順番を入れ替える必要がある。

#### 今後のスケジュール

- ・次回までに、5つのフェーズの並べ方と、どういう狙いをもって入れ替えるのかを各自検討してくる。
- ・10月頃までにモデルを作って試行できるようにする。→新年度予算に反映させる

第3回 平成22年5月14日（金）10：00～

第4回 平成22年6月18日（金）10：00～

第5回 平成22年7月16日（金）10：00～

### 第3回 質的評価検討会（社会貢献活動支援推進会議小委員会）

日時 平成22年5月14日 10時00分～12時00分

場所 高知県庁北庁舎3階会議室

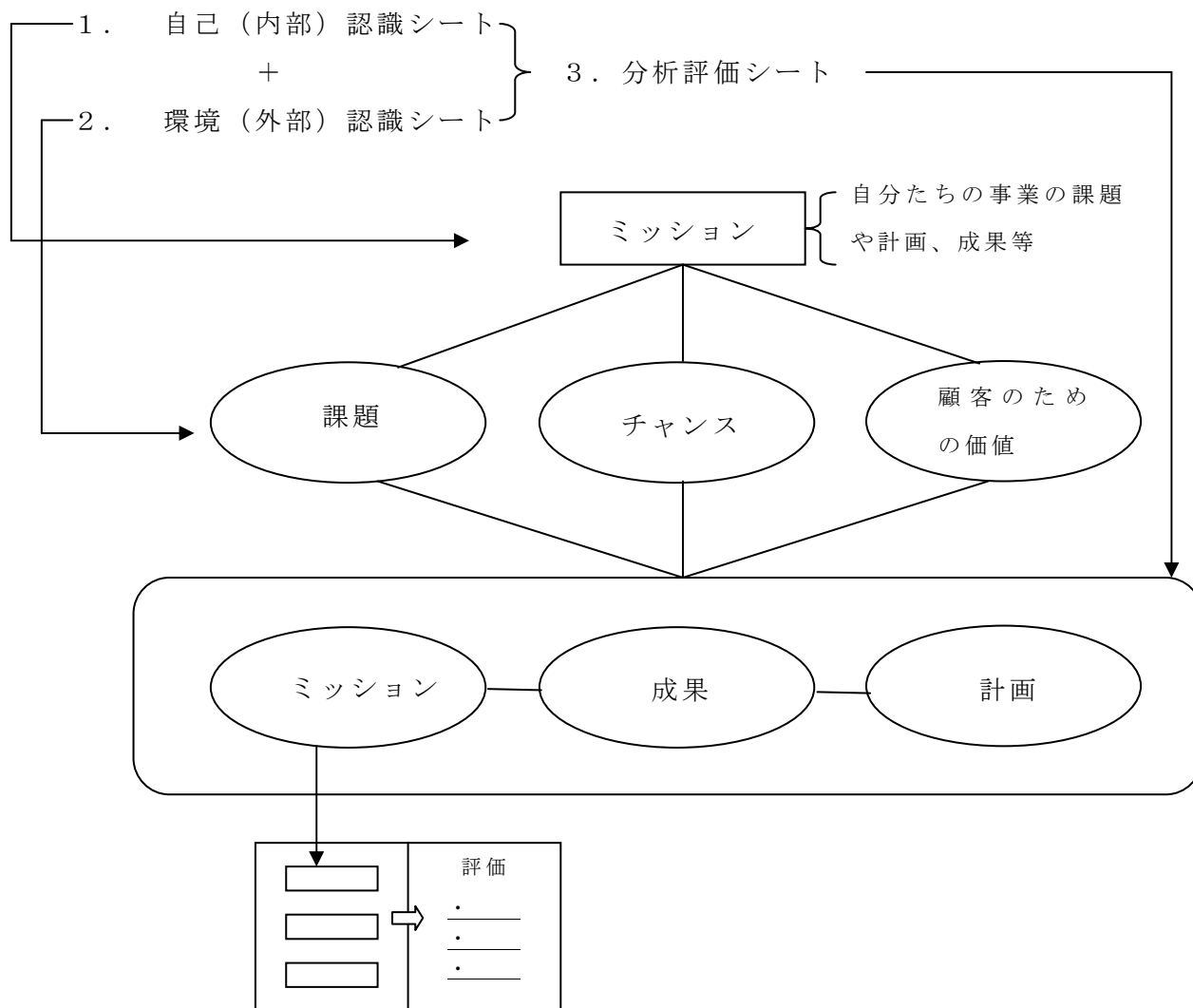
出席者 上田委員、新藤委員、大槻委員 事務局1名

#### ワークシートについて検討

- ・新藤委員、大槻委員より検討案説明。（別添資料のとおり）
  - ・順番は今のままでいいが、ワークシートについて、かなり詳しい説明が必要ではないか。
  
- ・ドロッカーの評価は、「NPOが客観的に評価できること」「経営状況が安定していること」が前提になっている。
- ・この検討会の目標は、ドロッカーの本の高知県版を作ること。
- ・内部環境、外部環境を調査できるように作らないと、NPOがワークシートを埋めるのは難しいのでは。
  - ワークシートを埋めることによって自己認識や外部認識ができるような設問を考える。まずはNPOに自分たちの経営実態を把握させること。
- ・ワークシートは、理事だけで完成できるものにはしないようにする。
- ・ワークシートの項目数は最低限に抑えたい。最低限で最大の効果が出るように。
- ・「短期的」「長期的」という表現（ドロッカーのワークシート2「われわれの課題は何か？」）は、わかりづらいのでは。「〇年後」というように時間で表現した方がわかりやすい。
- ・例えば、会議やイベントについて、「実施した」ことだけを評価しない。「やったから良い」ではない。
- ・ワークシートを記入するためのマニュアル本が必要。
- ・現場の感覚を取り入れるため、NPOの意見を取り入れながら作成する。

## ワークシート構成案

- ・ 3部構成にして、それぞれ複数のシートに分ける



- ・ 自己認識シートでは、ヒト、モノ、カネ情報について問う。（NPOセンター10周年記念誌でのアンケートが参考になるのでは）

## 意見交換

- ・ 日本では、公共は「作るもの」ではなく「存在するもの」と捉えられている。
- ・ ミッションとビジョンの区別がついていないNPOが多い。
- ・ 自分たちの思いを明示することで、社会的価値が生まれる。

→ 「うちのNPOは自分たちの思いだけでやっているので公共は関係ありません」という団体は、活動は素晴らしくても質的評価は下がってしまう。

## 今後のスケジュール

- ワークシート案を検討する。

自己認識のシート・・・新藤委員    環境認識シート・・・大槻委員

分析評価シート・・・上田委員

- 次回 平成22年6月18日（金）10:00～

#### 第4回 質的評価検討会（社会貢献活動支援推進会議小委員会）

日時 平成22年6月18日 10時00分～12時00分

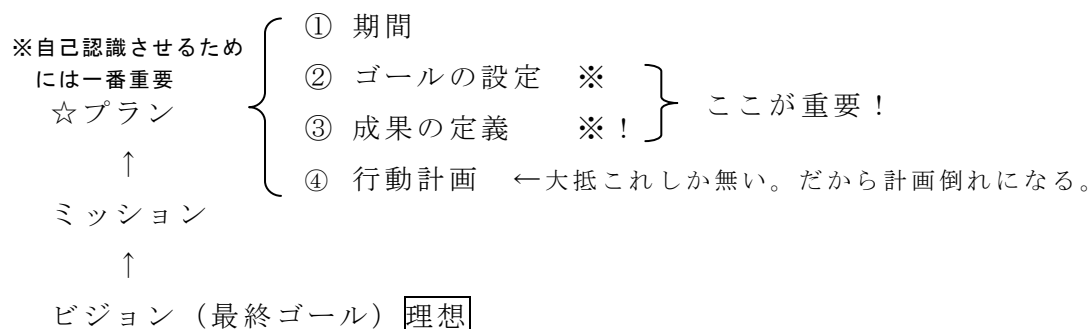
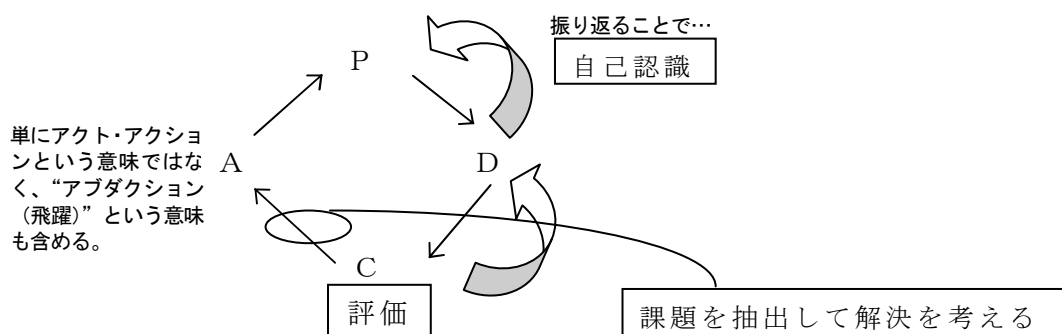
場所 高知県庁西庁舎北会議室

出席者 上田委員、新藤委員、大槻委員 事務局1名

#### ○ワークシート（案）自己認識シートについて検討

- ・新藤委員より検討案説明。（別添資料のとおり）
  - ミッションとビジョンという言葉は難しい。わかりやすい表現はないか。
    - ⇒ドラッカーが書いているように「目的」と「ゴール（ビジョン・着地点）」でいいのでは。ゴールは、「1年後のゴール」、「5年後のゴール」と分けてもいい。
- ・例えば、目的が「地域福祉向上」なら、どう向上したらゴールなのか。

- ・PDCAサイクル（plan-do-check-act cycle）について



- ・ミッションとプランを書いてもらうことによってビジョンが出てくる？
- ・まずは、期間（1年、5年等）を設定して聞く。
  - ⇒決定 期間は、「1年間」に決めてシート（質問）を作成する。
- ・その期間、「何をしてきたか」「これから何をするか」「してきたことは本当にやりたかったか」等を聞く。

### ○シート A (資料 P1~P3) について

- ・項目数は最低限に抑える。
- ・事業報告書ができていれば記入できるような内容にする。

### ○シート B (資料 P4) について

① 1年間の事業を全部リストアップしてください。

↓

② 分類してください。

↓

③ 各部門の想定した効果 (ゴール) は?

(何に対して、どういう効果をもたらそうとしたのか)

↓

④ どれくらい効果は達成されたか (どういう手段で?)

↓

⑤ その証拠を示してください。

(例えば、子どもの健全育成を目標に活動した結果子どもの非行率が下がった、とか)  
できないならそれでも可 (「示すことができない」という評価になる)。

ただし…数値  
で表すのは難  
しいかも?

↓

活動全体として、団体が目指す方向と達成度

※記入していくことによって、最後はビジョンにたどり着くようにする。

そうしないと、「現在の活動は、“ミッションだからやっている”」という答えになっ  
てしまいそう。

・こちらが聞きたい答えをNPOに答えてもらうにはどうすればいいのか、どうやっ  
たらチャンネルが合うのか考える。

・SWOT分析を使う

(S = 強み、W = 弱み、O = 順風、T = 逆風)

	順風	逆風
強み		
弱み		

・〇〇事業はどこに位置しますか?

※これは環境認識シート?

### 今後のスケジュール

- ・今回検討した項目の整理。(新藤委員)
- ・環境認識シート案の作成(大槻委員)

○次回 平成22年7月16日(金) 10:00~

## 第5回 質的評価検討会（社会貢献活動支援推進会議小委員会）

日時 平成22年7月16日 10時00分～12時00分

場所 高知県庁北庁舎3階第3会議室

出席者 上田委員、新藤委員、大槻委員 事務局1名

### ○ワークシート（案）について検討

- ・新藤委員、大槻委員より検討案説明。（別添資料のとおり）
- ・シートBの1と2は入れ替えた方が書きやすいのではないか。
- ・シートBの1と2の間に対象者（顧客）についての設問を入れる。
- ・「簡単に答えられるように」ということを意識しすぎて必要な要素が抜け落ちたら意味がないので、とりあえず「何を聞くべきか」ということを考える。問い方の技法は後から検討する。
- ・ワークシートには①分析バージョンと②アンケートバージョンが必要？
- ・アンケート形式にすると予測の範囲内の答えしか出てこないが、記述を多くすると答えられないNPOが多く出てくるだろう。

### ○意見交換

- ・「地域の活性化のため」に活動しているというNPOで、活性化の「定義」を持っているところはほとんどない。だから、振り返りができない。
- ・「活動をすることに意義がある」「活動している人が楽しければそれでいい」という自己満足的な団体は、そういう位置づけの評価。ただ、多くのNPOを生み出す裾野となる可能性もあるので「悪い」というわけではない。
- ・社会への影響等を自覚して活動することが「経営」につながる。
- ・NPOは、問題点がわかっているならば「解決する力」はあるが、問題点を「見つける力」がない。
- ・活動を「やる」か「やらない」かを重要視していて、「やったことによって何が生まれるか」までは考えていないNPOが多いのでは。
- ・完成したワークシートと解説を一冊にまとめて、高知県ボランティア・NPOセンターから出版してもらってはどうか。

### 今後のスケジュール

- ・8月のNPO研究会での意見を元に、9月中にワークシート（テスト版）を作成→NPO研究会参加団体に回答を依頼（メール等で依頼する）→10月の研究会でテスト版についての意見を聞く

○次回 平成22年9月17日（金） か 9月22日（水）